

人事委員会議事録（第1619回）

1 開催日時

令和元年10月10日（木）13：45～14：15

2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

3 会議に出席した者

委員	松田直人	委員長
	竹田佑一	委員
	鈴木尉久	委員
事務局職員	西村嘉浩	事務局長
	森本剛史	任用課長
	古川卓哉	給与課長
	門田高弘	任用課副課長兼総務審査班長
	小倉豊道	給与課副課長

開 会

第1号議案

議事録の承認を求める件

人事委員会議事録（第1618回）について審議の結果、原案どおり承認した。

第2号議案

職員の給与等に関する報告及び勧告の件

給与課長が、本年の職員の給与等に関する報告及び勧告について、最終的な文案と職員団体からの意見を説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員からの質問）

若手職員のみ給料表を引き上げることにより、中高年齢層の給与水準が民間と極端に乖離することはないか。

（事務局）

高齢層の水準は公務の方が高い傾向にあるので、問題はないと考えている。ただ、職員団体からは、現給保障が廃止されることもあり、高齢層職員の士気高揚につながる取組を求める意見がでてきている。

報告事項1

職員勤務実態調査（令和元年度）の実施

任用課長が、標記調査の内容を報告した。

(委員からの質問)

書面調査を10月から11月に実施して、実地調査は来年度に行うのか。

(事務局)

書面調査の取りまとめ後、12月に実地調査を行う予定である。

(委員からの質問)

調査は、市町立の小中学校は対象となるのか。

(事務局)

対象外である。県立の高校や特別支援学校が調査対象となっている。

報告事項 2

経験者採用試験の申込状況

任用課長が、標記試験の申込状況等を報告した。

報告事項 3

障害のある人を対象とする職員採用選考試験の申込状況

任用課長が、標記試験の申込状況等を報告した。

(委員からの質問)

この試験以外に知的障害者に県で仕事をしてもらおう場面はないのか。

(事務局)

非常勤嘱託員(県政推進事務員)で今年度、精神・知的障害者を採用した実績はある。

(委員からの意見)

そういった方に仕事を与えてあげられたらと思う。

(事務局)

今年度、教育委員会では県政推進事務員に相当する職で精神・知的障害者を多数採用して、集中的に配置し、そこにジョブサポーターを配置している。

知事部局では今年度から県政推進事務員が2名採用されているが、これから増やしていくとなれば、配置体制も考えていく必要がある。

今回の試験は正規職員対象であり、一定の能力を持っていることが前提だが、試験の結果については、試験終了後に検証することを考えている。

報告事項 4

行政B(高卒程度)採用試験の実施状況

任用課長が、標記試験の実施状況等を報告した。

閉 会